



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新井 徹

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	43,161	11.1	675	12.3	960	3.3	580	12.8
26年3月期第1四半期	38,866	7.8	770		993	241.0	514	518.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,445百万円 (37.6%) 26年3月期第1四半期 1,050百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.23	
26年3月期第1四半期	1.97	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	145,129	60,943	40.1
26年3月期	144,441	62,594	41.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 58,208百万円 26年3月期 59,947百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		6.00		6.00
27年3月期						
27年3月期(予想)		0.00		6.00		6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	87,800	8.0	500	76.1	750	68.2	350	72.2	1.34
通期	178,700	8.6	3,550	8.0	4,000	10.0	2,450	69.7	9.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	270,948,848 株	26年3月期	270,948,848 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

27年3月期1Q	10,608,845 株	26年3月期	10,602,220 株
----------	--------------	--------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	260,341,262 株	26年3月期1Q	260,395,488 株
----------	---------------	----------	---------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○ 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、国内の菓子食品部門及び冷菓部門が好調に推移し、平成25年10月に設立した森永キノインドネシア(株)が連結対象となったこともあり、主力の食料品製造事業が伸長し、全体で431億6千1百万円と前年同期実績に比べ42億9千5百万円(11.1%)の増収となりました。

損益は、売上高が増収となったものの、原材料価格の高騰等による売上原価率の上昇や広告宣伝費の増加等により、営業利益は前年同期実績に比べ9千5百万円(12.3%)減益の6億7千5百万円、経常利益も前年同期実績に比べ3千3百万円(3.3%)減益の9億6千万円となりました。四半期純利益につきましては、固定資産除売却損の減少や前年同期は減損損失を計上したこともあり特別損失が減少し、前年同期実績に比べ6千6百万円(12.8%)増益の5億8千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお当第1四半期連結会計期間より、食料品製造事業の菓子、食品部門を統合致しました。

当第1四半期連結累計期間の比較、分析は、統合後の区分に基づいております。

## &lt;食料品製造事業&gt;

## 菓子食品部門

国内では、主力ブランドの「森永ビスケット」「チョコボール」「ダース」「ハイチュウ」が好調に推移し、「おっとっと」は前年同期実績並みとなりました。一方「ミルクキャラメル」「ミルクココア」が前年同期実績を下回りましたが、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

無垢チョコレートの「カレ・ド・ショコラ」は、テレビ番組で健康効果を取り上げられたこともあり大きく伸長し、新商品が好調に推移している「ベイク」や夏場の飲用シーンを広げている「甘酒」も前年同期実績を大きく上回り、国内全体で前年同期実績を上回りました。

また海外でも、米国の「ハイチュウ」が好調に推移し、森永キノインドネシア(株)が連結対象となったこともあり前年同期実績を上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は266億7百万円と前年同期実績に比べ42億2千3百万円(18.9%)増となりました。

## 冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」及び「バニラモナカジャンボ」のジャンボグループは、広告・販促の効果もあり前年同期実績を上回りました。また「サンデーカップ」やマルチパック商品も好調に推移し、冷菓部門全体の売上高は85億8千4百万円と前年同期実績に比べ3億5千5百万円(4.3%)増となりました。

## 健康部門

主力ブランドの「ウイダーinゼリー」は、3月に実施したリニューアルのコンセプトを浸透できず前年同期実績を下回り、「天使の健康」シリーズの通販事業は「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績並みに推移しましたが、その他商品が前年同期実績を上回り、通販事業全体

では前年同期実績を上回りました。健康部門全体の売上高は55億円と前年同期実績に比べ2億6千8百万円(4.6%)減となりました。

[主力商品前年同期比(単位：％)]

菓子食品部門		冷凍部門	
ミルクキャラメル	90	ジャンボグループ	102
森永ビスケット	113	サンデーカップ	113
チョコボール	124	マルチパック	122
ダース	119	健康部門	
ハイチュウ	113	ウイダーinゼリー	90
おととと	100	おいしいコラーゲンドリンク	100
ミルクココア	80		
菓子食品主力品計	110		
ベイク	176		
カレ・ド・ショコラ	146		
甘酒	117		

※表内の数値は国内売上高にて算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は406億9千2百万円と前年同期実績に比べ11.8%増となりました。セグメント利益は4億9千6百万円と前年同期実績並みとなりました。

#### ＜食料卸売事業＞

売上高は15億9千6百万円と、前年同期実績に比べ1.3%増となりました。セグメント利益は7千3百万円と前年同期実績に比べて7百万円の減益となりました。

#### ＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、ゴルフ事業と不動産事業が前年同期実績を下回り、事業全体で7億1千3百万円と前年同期実績を下回りました。セグメント利益は2億1千3百万円と前年同期実績に比べ4千2百万円の減益となりました。

#### ＜その他＞

売上高1億5千9百万円、セグメント利益2千3百万円であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,451億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億8千8百万円増加しております。主な要因は、流動資産の商品及び製品の増加、投資その他の資産の投資有価証券の増加などによるものであります。

負債の残高は841億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億3千8百万円増加して

おります。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金、未払金、固定負債の退職給付に係る負債が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は609億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億5千1百万円減少しております。主な要因は、配当金の支払、退職給付に関する会計基準等の適用により利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は1.4ポイント低下し40.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が1,433百万円減少、退職給付に係る負債が910百万円増加し、利益剰余金が1,533百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,765	4,691
受取手形及び売掛金	18,172	18,070
商品及び製品	8,719	10,007
仕掛品	423	460
原材料及び貯蔵品	5,199	6,438
繰延税金資産	1,786	1,536
その他	4,365	4,315
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	43,420	45,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,917	23,680
機械装置及び運搬具（純額）	20,231	19,368
土地	30,645	30,685
その他（純額）	1,607	1,613
有形固定資産合計	76,402	75,346
無形固定資産		
のれん	2,332	2,366
その他	548	532
無形固定資産合計	2,881	2,899
投資その他の資産		
投資有価証券	18,147	19,198
退職給付に係る資産	1,433	—
繰延税金資産	784	800
その他	1,428	1,431
貸倒引当金	△57	△56
投資その他の資産合計	21,737	21,373
固定資産合計	101,021	99,620
資産合計	144,441	145,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,151	19,239
短期借入金	345	311
未払金	8,590	10,023
未払法人税等	1,451	222
賞与引当金	1,788	1,076
その他	7,643	8,175
流動負債合計	36,971	39,048
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,854	15,847
繰延税金負債	5,099	4,521
役員退職慰労引当金	95	95
退職給付に係る負債	6,513	7,383
資産除去債務	130	130
受入敷金保証金	6,437	6,398
その他	744	760
固定負債合計	44,875	45,136
負債合計	81,847	84,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	22,369	19,854
自己株式	△2,535	△2,537
株主資本合計	55,632	53,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,753	5,581
繰延ヘッジ損益	46	5
為替換算調整勘定	333	279
退職給付に係る調整累計額	△819	△774
その他の包括利益累計額合計	4,314	5,091
少数株主持分	2,646	2,735
純資産合計	62,594	60,943
負債純資産合計	144,441	145,129



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	38,866	43,161
売上原価	19,809	23,183
売上総利益	19,057	19,978
販売費及び一般管理費	18,286	19,302
営業利益	770	675
営業外収益		
受取利息	2	9
受取配当金	244	255
持分法による投資利益	3	1
その他	113	102
営業外収益合計	363	369
営業外費用		
支払利息	55	41
その他	86	43
営業外費用合計	141	84
経常利益	993	960
特別利益		
固定資産売却益	7	8
投資有価証券売却益	312	—
特別利益合計	319	8
特別損失		
固定資産除売却損	213	72
減損損失	218	—
その他	55	—
特別損失合計	487	72
税金等調整前四半期純利益	825	896
法人税、住民税及び事業税	192	187
法人税等調整額	114	124
法人税等合計	306	312
少数株主損益調整前四半期純利益	518	583
少数株主利益	4	3
四半期純利益	514	580

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	518	583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	827
繰延ヘッジ損益	△4	△40
為替換算調整勘定	242	143
退職給付に係る調整額	—	44
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△112
その他の包括利益合計	531	862
四半期包括利益	1,050	1,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,008	1,357
少数株主に係る四半期包括利益	42	88

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	36,382	1,576	767	38,726	139	38,866	—	38,866
セグメント間の内部売上高	247	188	157	593	306	900	△900	—
計	36,629	1,764	925	39,320	446	39,766	△900	38,866
セグメント利益	496	80	255	832	33	865	△95	770

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △95百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない  
全社費用 △70百万円、のれん償却額 △24百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに  
帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位 百万円)

	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	その他	調整額	合計
減損損失	218	—	—	—	—	218

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	40,692	1,596	713	43,002	159	43,161	—	43,161
セグメント間の内部売上高	192	178	146	518	310	828	△828	—
計	40,884	1,775	860	43,520	469	43,990	△828	43,161
セグメント利益	496	73	213	783	23	807	△131	675

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △131百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない  
全社費用 △86百万円、のれん償却額 △50百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰  
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。